

明るい選挙啓発授業展開例（グループワーク実施型）

1 目標

- ・講義やクイズを通して、選挙の意義や制度を知る。
- ・候補者情報の見つけ方について知る。
- ・選挙に関する課題をグループで話し合うことで、多様な視点に触れる。
- ・若者の投票率低下や国民の権利について学び、一票の重要性について考える。

2 展開例（100分の場合）

	学習活動	備 考	担 当
導 入 5 分	1 あいさつ	・あいさつ後、自己紹介	選管担当者
講 義 25 分	2 なぜ「代表者」を選ぶのか 3 代表者・有権者の役割 4 選挙運動における注意点 6 選挙クイズ	・禁止されている選挙運動についても紹介 ・2～3問程度	
グ ル ー プ ワ ー ク 40 分	7 グループワーク ・現状分析 ・グループ内での検討 ・発表	・4～5人のグループで選挙に関する課題について検討する。 テーマ例 「投票率向上のための取組」 「若者が選挙に関心を持つためには」 「投票率が低いとどうなるのか」 など ・模造紙などに発表内容をまとめて発表する。	
ま と め 20 分	8 まとめ 9 アンケートを記入し、回収	・発表内容について講評する。 ・グループワークのテーマ、若者の投票率の低下等に触れながら一票の重要性について考えさせる。 ・時間不足の場合、回収は後日行う。 ・活動を振り返らせながら、投票への関心の高まり及び選挙への理解の度合いについて確認する。	担任 ・アンケート用紙の回収